

花王川崎工場 見学報告

1890 年に「花王石鹸」を発売。高級な石鹸として能書をつけて発売。
花王という社名は「顔洗い」という言葉が由来となったものである。
花王のマークである月は美しさや清潔さのシンボルである。

川崎工場は、昭和 37 年に建てられ、東京ドーム 2.5 個分の面積。
一般消費者向けの製品を製造

・充填機

機械によって 2 袋ずつセット→袋の中に空気をいれる→袋の中に製品をつめる。
50 袋／分の速さで充填
＊目視による点検などを行っている人が数名ただけで、人はほとんどいなかった。

・箱詰め作業

ダンボール箱に製品をつめる作業もすべて機械。ロボットによって 3 つずつ箱詰め
機械が作業をすべて行うことで、すばやく、間違いなく行えるため効率的

・積み付け作業

「パレット」と呼ばれる正方形の板（他会社でも共通）の上に機械で隙間なく製品を積み
上げる。

・自動倉庫

高さ 30m（ビルの約 8 階に相当）、横幅 40m、奥行 60m
全てコンピューターによって在庫管理されていて、古い製品が倉庫に残ることがないように
管理されている。
クレーンが故障したときのため、在庫はあえてばらばらに保管している。

・シャンプーやリンスの製造

ガラス張りになっていて、中に入る際には空気のシャワーをあびるなど、薬事法に基づい
て衛生面に特に気を使っていた。

・集中制御室

24 時間、4 部 2 交代制で製品が安全に作られているかを監視

以上